東京

「其の日」暮らし

イチョウ並木のこと

街を歩いたり自転車で走っていて、ふと見た木がイチョウだったりすると、ものすごく嬉しくなります。他のどんな木よりもわかりやすい葉っぱをしているから好きなのか？あの「つるん」としたぎんなんを思い出すからなのか？とにかくイチョウが気になります。

初めて東京のイチョウを見たとき、いつも見慣れている「御堂筋のいちょう」に比べ葉の先が多く割れているのを見つけ、「東京と大阪ではイチョウの種類も違うんや！！」と真剣に感動しました。後で調べてみると勘違いだったのですが・・・。

私にとって「御堂筋のいちょう並木」は四季の移り変わりを目で見て、手で触ることの出来る身近な存在だったので、自然、「御堂筋のいちょうの様にステキな銀杏並木はないだろう。」と密かに自慢に思っていました。ところが御堂筋のような並木道を東京で発見したのです。東京に住み始めた頃は毎日カバンに道路地図を入れて、自転車に乗って探検をしていました。ある日、巣鴨から家の方に向かって走っていたら、いつも通る旧白山通りではなく、白山通りの方にポツポツと黄色い葉っぱが見えました。「イチョウがあるんやな」と思いながら進んでゆくと、なんと！御堂筋によく似た並木があったのです。人通りの少ない時間帯だったのか歩道の上には落ち葉がそのまま残っているところもありました。上も下も黄金色。その中を一人でウキウキしながら自転車を走らせたのでした。もちろん葉っぱの形をチェックすることも忘れていません。この並木は大阪のイチョウの葉と同じ形でした。密かに「もし、ホームシックになったらここに来て御堂筋を思い出そう。」とナサケナイことを思っていましたが、未だホームシックにかかることもなく、マイペースで東京暮らしになじんできています。

大阪・御堂筋のイチョウ並木
（2009年9月30日撮影）

東京・白山通りのイチョウ並木
（2009年9月29日撮影）

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。
（株）ファッションビジネス・御堂筋新聞